

GO-GO通信

ソフトボール大会 優勝！！

番外編 平成2005年7月28日
発行：五稜会病院



7月23、24日はとても熱い連休でした！！なんてってソフトボール優勝しちゃいましたから！！選手の皆様のプレーを見て、応援席も大興奮でした。（この思い届いていたかしら？）

札幌佐藤病院との決勝戦は甲子園なみに感動し、とてもドキドキ。普段の仕事では拝見できない皆様の顔を見て、「あっ、やっぱりスポーツは良いな☆」と感じました。本当にかっこよかったです☆☆
あと、お酒も美味しかったです…☆



～優勝記念！！旭川初参加日誌～

週三回の練習では5人以上揃うことが数えるほどしかなく、メンバーも揃うのかも分からず正直大丈夫かなと思いました。23日を迎え大会前日の親睦会で対戦チーム発表。いざ大会当日、予選第一試合の一回の表、一番バッターの主力選手（個人情報保護のため）が足を痛めるも、打線の爆発により16対6の大差で勝利を納めました！続く第二試合も打線爆発！！中村監督のホームラン、事務長の活躍、総務の多武さんの好投が光り14対4で勝利！休憩後、前回優勝の札幌佐藤病院との決勝戦。先制しながらも追いつかれ、逆転しては逆転され3点リードで迎えた7回表、同点に追いつかれた後に2病棟の新山さん、原田先生の好返球2連発で相手の勢いが完全にストップ！（痺れました！）その裏2アウト一打サヨナラの場面で全員が祈る中、総務の酒井さんがやってくれました！！9対8のサヨナラ勝ちで優勝！非常にいい経験をさせていただきました。攻守に光る総務の池田さん、唯一の女性選手2病棟の栗原さん、突然の出場でも活躍のDCの清水さん本当にお疲れ様でした。また暑い中応援していただき本当にありがとうございました。

OT 助手 島村



河村選手：初戦初回からのアクシデント、今年は勝てないかなと思うほど痛い交代でした。でも、痛い足を引きずりながらの1塁コーチ、ありがとうございました。来年は全試合出場をお願いします。

清水選手：心の準備の出来ないうちの出場でしたが、攻守にわたりの活躍でした。守備では低い取りづらいライナーの捕球見事でした。狙ったのか、振り遅れかわかりませんが再三にわたり右へのヒットを放ちチャンスをふくらませてくれました。これが1・2戦目の大量点につながり大差で勝つことが出来ました。

新山選手：初打席での三振で、この先どうなるのか心配しましたがヒットが出るようになり安心しました。抜けると2塁打になりピンチが大きくなる場面で、ヒットで抑えた守備見事でした。来年の大会までに、もっと打てるようになってください。

島村選手：攻守にわたり大活躍でした。特に、初戦での試合を決定する3ランHR見事でした。あのHRでチームの雰囲気が一気に良くなりました。試合前はショートの守備に不安をもっていました、何度もヒット性の打球を処理しピッチャーを助けてくれました。来年はHRの量産を期待しています。

原田選手：幻のHRでした。審判もっとルールの勉強をしとけよといいたくなりました。チームの4番打者として打線を引っ張ってくれ、守備では再三の好捕でピンチをすくってくれました。特に決勝戦で7回に同点に追いつかれた直後でのセンター前ヒットのバックホーム見事でした。このプレーがなければ優勝はなかったでしょう。それほど大きなプレーでした。

多武選手：3試合のほとんどを一人で投げきりました。疲れたでしょう。攻撃では大きな当たりこそありませんでしたが、コツコツと地道に塁に出てくれました。来年はもっと足腰を鍛えて3試合投げきってください。

田中選手：攻守にわたり課題を大幅に解消しました。特に打撃面では進境著しく、あわやHRという打球もありました。でもあと1メートルがなかなか飛ばないんですよ。守備ではダブルプレーをとるなどの活躍もありましたが、ゴロ捕球の課題が残りました。ゴロはバットを捕まえる要領ではなく、どじょうすくいのような要領です。これが出来れば確実にレギュラー定着でしょう。

池田選手：怪我をおしての出場ありがとうございました。足を引きずりながらの走塁ご苦労様でした。思惑どおりたまっランナーを迎え入れてくれました。来年は昨年のように内野の要としての活躍を期待しています。

酒井選手：重労働の捕手での3試合お疲れ様でした。神様もご褒美としてさよならヒットを用意してくれました。それまでパットしなかったのにあの瞬間は帽子をかぶっていたにもかかわらず輝いて見えました。

栗原選手：唯一の女性選手でした。炎天下の中日焼けも気にせず3試合全イニング出場し相当の疲れもあったはずですが最後までよくがんばってくれました。拍手

来年は日焼け止めを完全にしまた頑張ってください。

監督の独り言
優勝するときは、全てが良い方に展開するもので、いろいろなアクシデントを抱えながら、それを選手、応援者が一丸となり乗り越えることが出来た。決勝戦の後半、優勝が目前にちらつき始めると、勝ちたい、優勝したいという気持ちが強く出て、つい「地」が出て大声を出した。他意はない、俺の気持ち察してくれよ大声を出された1番バッター申し訳ない。来年も優勝がちらつき始めると地がでるかも？その時のバッターは誰かな来年の大会は今年の戦士だけでは連覇は出来ない。大黒柱のH選手がいなくなることが予想されるから。H選手並みの新戦力が今年参加できなかったV1時の戦士が戻ってこなければ連覇は夢のまた夢になってしまう。V1戦士来年は参加して連覇に貢献してくれることを願っている。

